

環境経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECP-301
選択 2単位

永井 リサ

1. 授業の概要(ねらい)

この「環境経済社会学Ⅰ」では、多様な環境問題、とくに「パリ協定」及び「カーボンニュートラル」に焦点を当てながら、「脱炭素社会」の実現に向けて何ができるのか具体的な事例を取り上げて分かりやすく解説し「地球に対して、今自分ができること」について考えていきたいと思います。

2. 授業の到達目標

環境問題は自分たちの未来に直結する問題であることを、様々な事例を通じて理解します。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(20%)、レポートの提出(30%)、最終期末試験(50%)として、総合的に評価します。講義中に参考文献や準備学習の課題等についても指示します。また、出席を重視します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

栗山浩一/馬奈木俊介 環境経済学をつかむ 有斐閣
鳥越 皓之、帯谷 博明 よくわかる環境社会学(第2版) ミネルヴァ書房

5. 準備学習の内容

講義中に指示する参考文献、配布するプリント等をよく読むこと。

6. その他履修上の注意事項

出席率や授業中での参加度を重視します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 「環境経済学」とは何か①
- 【第3回】 「環境社会学」とは何か②
- 【第4回】 「パリ協定」①
- 【第5回】 「パリ協定」②
- 【第6回】 「パリ協定」③
- 【第7回】 「パリ協定」④
- 【第8回】 中間のまとめ
- 【第9回】 「カーボンニュートラル」について①
- 【第10回】 「カーボンニュートラル」について②
- 【第11回】 「カーボンニュートラル」について③
- 【第12回】 「脱炭素社会」の実現に向けて①
- 【第13回】 「脱炭素社会」の実現に向けて②
- 【第14回】 「脱炭素社会」の実現に向けて③
- 【第15回】 総括・まとめ